



ダイセンクワガタ

ダイセンクワガタ(大山鋏形)は、ミヤマクワガタ(深山鋏形)やキクバクワガタ(菊葉鋏形)の仲間で大山(鳥取県)の固有種であるゴマノハグサ科ルリトラノオ属の夏緑性多年草です。

夏に咲く花は、ミヤマクワガタと似ていますが、ダイセンクワガタ(大山鋏形)の萼裂片は尖りません。花茎から青紫色の小花を多数穂状に付けます。花弁状に4深裂した花冠の中央から長い1本の雌しべ、両脇から2本の雄しべが突き出ています。花は下から上に向かって咲きます。

ダイセンミツバツツジ

高さ1~4mになる。枝は横に広がる。樹皮は灰黒褐色。若枝は黄褐色または赤褐色で無毛。葉は枝先に3個輪生する。中央部がもっとも幅が広い。先端は短くとがり、基部は広いくさび形、ふちには微細な波状の鋸歯がある。脈上には微小な腺点がある。裏面は全面に淡褐色の伏毛があり、とくに主脈や側脈の基部付近に淡褐色の毛が密生する。葉柄は長さ3~6mm、淡褐色の毛が密生する。葉の展開前又は同時に開花し、鮮やかな紅紫色の花を枝先に1個ずつつける。花冠は直径3.5~5cmの漏斗形、深く5裂し、上側の裂片3個には濃い斑点がある。

